

成田国際空港 第3旅客ターミナル ジェットスター 新チェックインカウンター運用開始

- 自動チェックイン機や自動手荷物預け機が大幅に増加
- ターミナル間の移動距離が約半分に
- 搭乗手続きの「セルフサービス化」を推進し、お客様の利便性をさらに向上



成田空港第3ターミナル 新チェックインカウンターエリア付近

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)は、このたびの成田国際空港第3ターミナルの拡張に合わせてチェックインカウンター周辺のレイアウトを変更し、4月21日(木)から新チェックインカウンターで搭乗手続きを開始します。

新チェックインカウンターでは、自動チェックイン機や自動手荷物預け機の設置方法を従来のアイランド式からリニア式に変更することで視認性が向上すると同時に、お客様の動線周りのスペースが拡大され、広々としたターミナルスペースが実現されました。その拡大したスペースに、自動チェックイン機や自動手荷物預け機を設置することで、お客様の待ち時間が短縮されるほか、ソーシャルディスタンスも確保でき、より円滑かつ快適な搭乗手続きが可能となります。

また、今回の拡張では、最寄り駅である「空港第2ビル駅」とチェックインカウンターエリア間に新アクセス通路が整備され、ターミナル間の移動距離は従来の約500mから約300mへと短縮されました。また、新アクセス通路は立体化され、通路幅も拡張されるため、一層安全に快適に移動することが可能です。

さらに、運航便ごとにバゲージの搬送経路を設定したり、自動手荷物預け機の設定を旅客数や便数に応じて臨機応変に変更したりできるほか、通い箱(カバンなどを入れるプラスチック製の箱)の返送ベルトが設置されたことでスタッフの負担が軽減されるため、労働環境も大きく改善されます。

ジェットスターでは、これまでもモバイル搭乗券や自動手荷物預け機などの先進的なサービスを導入し、搭乗手続きの「セルフサービス化」を推進してきました。今後も、進化し続ける第3ターミナルから、安全・安心で気軽な空の旅を提供してまいります。

成田国際空港第3旅客ターミナル <https://www.jetstar.com/jp/ja/help/articles/nrt-t3>

(ご参考) 自動チェックイン機および自動手荷物預け機 設置数

	既存部		増築部	ターミナル合計
	国内	国際	国内・国際併用	
自動チェックイン機	16 (ジェットスター独自端末を国内線で使用。ただし撤去予定)	24 (ただし未使用)	36台	60台
自動手荷物預け機	16台 (国内・国際共用: 現在、うち8台を国内線で使用)		24台	40台



自動チェックイン機



自動手荷物預け機